



令和5年度菊川市敬老会

## 長寿の皆さん、いつまでもお元気で



1 大勢の人が出席しました 2 市長から今年100歳を迎えた人へ記念品が手渡される 3 4 会場が美しい歌声とピアノの音色で包まれる 5 市長も得意のハーモニカとパーカッションでお祝い 6 立川晴の輔さんが軽妙な落語を披露

9月17日、敬老の日を前に、長寿を祝い、多年にわたり社会につくしてきた高齢者の皆さんに感謝の意を表す敬老会が、文化会館アエル大ホールで開催されました。今年度中に77歳、80歳、88歳、90歳、99歳以上となる高齢者1,539人を対象として開催され、345人が出席しました。

式典では、長谷川寛彦市長が祝辞を述べ、100歳以上の参列者5人に市長から賞状と記念品が手渡されました。

式典終了後、余興として市長がバンドメンバーを引き連れて登場し、美空ひばりさんの「愛燦燦」やリクエストが多かったという「青い山脈」など3曲を演奏。優しい音色と歌声に合わせて、会場の皆さんも一緒になって歌っていました。その後、当市とも縁が深い落語家の立川はれすけの輔さんによる寄席が行われ、会場には楽しそうな笑い声が広がっていました。

今月の表紙!



田んぼアート菊川2023収穫祭

## 刈りしてアートにお別れ

9月10日、下内田稲荷部地区の水田で「田んぼアート菊川2023収穫祭」が行われました。市内外から親子連れなどおよそ150人が参加。徳川家康公の図柄を描いていた古代米の稲穂を、鎌を使って手作業で収穫していきました。刈り取った稲は種類ごとに束ねて稲架掛けしていき、1時間ほどですべての稲を刈り終えました。収穫後には昨年度に収穫された古代米を使ったご飯と豚汁が振る舞われ、参加者は美味しそうに頬張っていました。



1 刈り取られていく家康公 2 立派な稲穂を手にポーズ



応急手当協力事業所認定証交付式

## をつなぐ担い手に

9月8日、消防本部で応急手当に関する正しい知識と技術の習得に積極的に取り組んでいる事業所に、応急手当協力事業所認定証が交付されました。救命率の向上を目的とした応急手当協力事業所認定制度で、一定の条件を満たす事業所に対して交付されるものです。

今年度は新たに5事業所が認定され、各事業所の代表者に認定証と認定表示板が交付されました。これにより平成25年度の運用開始から、59事業所が地域の応急手当普及啓発活動の担い手となりました。



▲認定証を受け取った事業所の代表者